

神奈川県立がんセンター 頭頸部外科 レジデント研修評価表 (年次)

レジデント	期 (氏名)	2022.3 ver.1
指導医		レジデントは太 枠 内を記入
研修期間	年 月 日 ~ 年 月 日	
がん専門医研修に頭頸部外科医としての下記の目標について自己評価をするとともに、指導医による評価も受ける。		
	A: 修得した B: ほぼ修得した C: 目標に達しない	
	自己評価	指導医評価
1. 以下の項目を理解している。		
1) 頭頸部の解剖	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
2) 頭頸部癌の病期分類	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
3) 頭頸部癌の病理	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
4) 頭頸部癌の画像診断	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
5) 頭頸部癌の遺伝子異常	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
6) 頭頸部癌の手術	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
7) 頭頸部癌の放射線治療	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
8) 頭頸部癌の化学療法	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
9) 頭頸部癌の分子標的薬治療	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
10) 頭頸部癌免疫チェックポイント阻害剤治療	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
2. 以下の項目を理解し、頭頸部外科診療を実践できる。		
1) 頭頸部の視診触診	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
2) 鼻咽腔ファイバースコープ検査	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
3) 咽喉頭ファイバースコープ検査	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
4) ファイバー下生検	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
5) 超音波診断	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
6) 超音波ガイド下FNAC	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
7) 頭頸部画像診断の読影	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
8) 化学療法の副作用管理	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
9) リンパ節摘出術 (術者・助手)	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
10) 舌部分切除術 (術者・助手)	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
11) 気管切開術 (術者・助手)	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
12) 鼻内視鏡手術 (術者・助手)	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
13) 鏡視下咽頭悪性腫瘍手術 (術者・助手)	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
14) 顕微鏡下喉頭微細手術 (術者・助手)	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
15) 耳下腺腫瘍摘出術 (術者・助手)	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
16) 顎下腺摘出術 (術者・助手)	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
12) 喉頭全摘出術 (術者・助手)	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
13) 頸部郭清術 (術者・助手)	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
14) 咽頭喉頭摘出術 (術者・助手)	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
15) 下顎骨切除術 (術者・助手)	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
16) 頭頸部癌治療後のリハビリテーション	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
17) 緩和ケア・在宅医療導入	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
3) 頭頸部外科に関するカンファレンス、臨床研究・論文発表。		
1) 症例提示・奨励報告	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
2) 抄読会・文献検索	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
3) 研究発表 (学会・論文)	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
4) 研究における倫理	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
自由記載欄: (欄不足の場合は裏面へ)		
評価: 年 月 日 判定: 優・良・可・不可		
指導医記載欄:		

提出方法:レジデントは研修期間終了時に自己評価を記入して指導医に提出し、指導医は指導医評価を記入後1ヵ月以内に総務企画課に提出すること。